

AAS006-01

会場: 202

時間: 5月28日10:45-11:00

赤道ファウンテン

Equatorial fountain

津田 敏隆^{1*}

Toshitaka Tsuda^{1*}

¹京都大学生存圏研究所

¹RISH, Kyoto University

赤道域で特徴的な物質・エネルギーフローを「赤道ファウンテン」として総括的に捉え、その変動が特に激しい熱帯アジア・西太平洋域で、赤道レーダー拠点観測、広域ネットワーク観測、衛星データ、数値モデルを駆使して、その動態を解明し、全球に及ぶ大気変動を引き起こすメカニズムを定量的に解明する。

赤道域で地表から放出される大気物質は、対流圏を循環しつつ積雲や巻雲の生成・発達に寄与し、さらに対流圏界面を通過して成層圏に噴出され中高緯度に広く輸送される。赤道域で地表から放出される大気物質は、対流圏を循環しつつ積雲や巻雲の生成・発達に寄与し、さらに対流圏界面を通過して成層圏に噴出され中高緯度に広く輸送される。赤道対流圏を源泉とする大気波動は中層大気の特異な長周期・不規則変動を駆動する。電離圏では中性風によるダイナモ電場が地球磁場と相互作用してプラズマを噴き上げる。

これらの諸過程に関する総合理解を進める研究計画について議論する。

キーワード:赤道大気圏,積雲対流,物質輸送・混合,大気波動,中層大気大循環,プラズマファウンテン

Keywords: equatorial atmosphere, cloud convection in the tropics, transport and mixing of atmospheric materials, atmospheric waves, middle atmosphere circulation, plasma fountain